

第225号

平成29年(2017年)

3月1日発行

(奇数月1日発行)

編集発行

東大和市立公民館

◇中央公民館 中央3-926	☎042-564-2451 FAX 042-563-5934
◇南街公民館 南街5-32	☎042-564-2771 FAX 042-590-7010
◇狭山公民館 狭山3-1344-1	☎042-565-2700 FAX 042-565-2858
◇蔵敷公民館 蔵敷2-337	☎042-566-0551 FAX 042-566-0552
◇上北台公民館 上北台2-865-9	☎042-567-2691 FAX 042-567-3365

キラリ★ひと・かつどう 第30回 比留間めぐみさん

今回「キラリひと・かつどう」に登場していただくのは、中央公民館で活動されている比留間めぐみさんです。『ママ・マルシェ』の開催メンバーとして活躍され、地域交流にご尽力いただいています。

Q・公民館活動を始めたきっかけは？

最初はリトミックサークルどーなつに生後八ヶ月の娘と週一回通っていました。その後保育付講座に参加して、その時の友だちとママ・マルシェを始めることになりました。

Q・ママ・マルシェへ発展していくきっかけは？

友だちと話をしていく中で「何か始めたい」という思いになり、私が出た物やハンドメイドしていたことから、作った物をもっと活かせる場所を探し始めました。高く売るのはなく何か役に立ちたいという思いから中央公民館のホールを使えないか相談させてもらい、平成25年度のついで前夜祭として第一回ママ・マルシェを計画しました。残念ながら大雪で日にちを変更しての開催でしたが、千人位の来場者がありました。会場は混み合い、ベビーカーも通りにくく、行列もできる状況となったため、通路の確保が出来るようにブスの数を30個程から今は26個程に減らしています。

Q・ママ・マルシェでのお父さんの関わりは？

メンバーの旦那さんは子どもの面倒をみるなどして支えてくれてます。今回の第八回ではお父さんが売り場に立ち家族ぐるみで出展したり、パンを焼いたり、洋服を作ったりと、三人くらいのお父さんが密に関わってくれてうれしかったですね。ママ・マルシェという名前ですがイベントにはお父さんもどんどん参



Q・ママ・マルシェの運営で印象深いエピソードやうれしさを感ずる

印象深いのはやはり雪ですね。第一回は大雪、第三回はチラッと雪が降って、今回の第八回は11月なのに翌日に雪が降りましたから。一日ずれてよかったですが、常に雪との戦いのイメージがあります。(笑)うれしかったことは、家族で参加されているのを見る時「よかったな」って思います。

Q・ママ・マルシェの知名度が上が

っています。その活動内容は？うれしそうですね。今はハンドメイドイベントを年一回と、夏に遊空間とのタイアップの子どもマルシェ、他に発達障害の講座の三本柱でやっています。子どもの成長と共に私たちの関心も違うところに移っていき、それが世間一般のニーズと合致する

ところもあると思っています。それでも子ども達が小さかった頃の悩みを忘れるのではなく、お互い楽しくできる形にしたいと思っています。

Q・三本柱になってきている子どもマル

シェですが始めたきっかけや思いは？

子どもが主体になれることで、キッザニアのように職業体験をさせてあげられたらと考えてる中で、遊空間とのタイアップを思いつき公民館へ相談させてもらいました。遊空間で習ったことを人に教えることでさらに習得を深められよい経験になりました。親から離れて家では見せない姿にお母さん達も感心していました。

Q・三本柱の三つ目の発達障がい講

座について教えてください。

今学校現場も大変な状況ですよ。ただ、一概に障がいというだけではなく、いろいろなパターンや気質があるって事を広められたらいいと思っています。日によっても人によってもその気質には差があつて、強弱があつて。でもそれって誰にでもあり得て、だから普通に育つていいんだって事を講座から学んでいます。

Q・公民館活動を始めようか迷って

いる人へ何かメッセージを送るとしたら？

来なきゃ損ですよ！ってことです。一度は利用してそれから考えた方がいい。公民館には沢山サークルがあるので自分に合うものをさがしてトライアンドエラーで。場所も情報も安心も揃つていて、子どもを持つ親



にとつてはありがたいです。また、コミュニケーションの場として、孤独にならないための交流の場としてどんどん活用していただきたいと思います。地域で交流することは防犯にも繋がり、障がいなどにより生活がスムーズにいかない方

公民館運営審議会の活動から

東京都公民館研究大会参加報告

53回を数える本大会は、福生市の市民会館と公民館において、1月21日(土)午前10時から午後4時まで行われました。

今回のテーマは、「公民館のこれ

までとこれから成果と方向性」。開催趣旨は、「人口減・少子高齢社会の進展、そして各自治体の行財政改革とともに公民館や社会教育施設に要求される内容が、より難しい内容に変わってきています。しかし、

公民館を取り巻く環境の変化に責めを転嫁し、時流に押し流されてしまつてよいのでしょうか。公民館には住民の自由な学習・文化活動の権利を保障するなかで、ひとつづつ・地域づくりを担ってきた歴史と成果があるはず。いま、あらためて公民館の誕生から今日までの流れを知ると共に、公民館が住民と共に創造してきた成果、あるいは取りこぼしてきたものは何であったのかを自ら明らかにし、持続可能な地域づくりの時代に求められる公民館の果たすべき役割や未来の姿を明らかにする必要があります。ではないでしょうか。

次世代の学びを保障するためにも、自信と勇気を分かち合える研究大会にしたいと思えます。」という大変レベルの高いものでした。

大会は、来賓の福生市長、教育長、主催者の挨拶の後、東京農工大学教授の朝岡幸彦氏による基調講演があり、社会教育・公民館を取り巻く現状を学んだ上で、午後から開催趣旨

に基づく課題別集会に移りました。課題は4つ。第1「高齢者の学びと講座づくり」、第2「公民館から始める地域づくり」、第3「公民館からの発信力を考える」、第4「少子高齢化時代の公民館のあり方について考える」です。

私は第4課題別集会に参加し、午後の3時間半という僅かな時間の中で議論をまとめることになりました。助言者は東京大学名誉教授の佐藤一子氏。約40名の参加者が5つのグループに分かれて議論し最後にまとめた発表しあいました。私のAグループでは、「少子高齢化社会の原因をどうとらえるか」から議論を始め、それを踏まえて「持続可能な地域づくり」にむけた公民館の役割」へと議論を進めました。

戦後の経済発展と産業構造の変化、核家族社会、高学歴化、若者の労働環境と働き方、晩婚化などが挙げられました。これら少子高齢化の原因を踏まえ、いかに公民館が持続可能な地域づくりに役割を發揮するか。地域での人々のつながりを濃厚にするためのいくつものキーワードが出されました。公民館に足を運んでもらうための情報発信の工夫、若い世代にも関心を持ってもらうためのイベントなどなど。必ずしも射た結果を出すところまではたどりつけませんが、今後多くの場で活かしたいとの思いを強くした、有意義な時間になりました。

小倉安洋(蔵敷公民館利用者連絡会)

第34回南街公民館まつり

南街公民館で活動しているグループの日頃の活動成果を展示・発表します。発表を聞いたり、展示を見て、地域活動や自身の趣味・活動を始めるときにつけにしてみませんか。
※当日、駐車場はご利用できません。
【3月4日(土)】

開会式 午前10時～10時30分
展示 午前10時～午後4時
発表 午前10時30分～午後4時30分
地域交流イベント 午前10時30分～11時 東大和市立第二小学校和太鼓クラブ

他館交流事業 正午～午後0時30分
ラウンダリア・コル(狭山公民館利用グループ フラダンス)
特別イベント 午後1時～2時
東大和元気ゆうゆう体操 午後1時～1時30分/春風とウクレレス

【3月5日(日)】
展示 午前10時～午後3時30分
発表 午前10時～午後2時30分
地域交流イベント 午前10時～10時30分 東大和市立第二中学校吹奏楽部

ヨロツパの鉄道模型展示・体験 午前10時～午後2時頃(1階ながい児童館ブレイクルーム)
ヨロツパのミニチュア鉄道模型を線路で走らせます。展示だけでなく、発車・停車の操作体験も出来ます。外国製の貴重な模型の展示となりますので、ぜひお越しください。
閉会式・ビンゴ大会 午後2時30分～3時30分

【両日】
他館からの展示 福島こども保養プロジェクト、南街・立野・中央9条の会、東大和市民ネット
模擬店 午前10時30分～売切れ次第終了
※おでん、おにぎり、今川焼と飲物の販売。福祉作業所の出店もあります。

おもちゃ修理(東大和トイクリニック) 展示時間内に壊れたおもちゃをお持ちください。ただし、部品代がかかる場合があります。
場所・問合せ 南街公民館



〈昨年の発表の様子〉

グループ紹介

葉月会は手持ちの楽器で合奏を楽しむグループ。民謡、童謡、演歌、懐メロ、外国の曲など、それぞれの楽器の持ち味を出せるような曲を見つけては合奏しています。

グループ名の「葉月」は、「8月」を意味する和語です。グループ結成が夏だったので、夏のイメージからつけました。

グループ結成のきっかけは、尺八とチェロで合奏しようとしたことからでした。一見全く接点のない和と洋の楽器ですが、合奏してみると意外にも合うのです。異なる味わいを持つ音色が合わさって一つの音楽になる、この楽しさが合奏の醍醐味だと感じています。
合奏するときは曲の中でそれぞれの楽器が主役になる部分を作ったり、

葉月会

(蔵敷公民館)

発表会などではソロ演奏の曲を入れたりして、どの楽器も楽しく演奏できるようにしています。現在のメンバーは尺八、三味線、ハーモニカ、チェロ、歌で活動していますが、和洋問わずいつでも新たな仲間をお待ちしています。

普段は毎週土曜日の午後、和室で活動しています。仲間同士教えあつたり、自分のやりたいものを練習していたり、合奏したい曲を持って来たりなど、おしゃべりしながら和やかな雰囲気です。

最近では、お琴や三味線のグループの方と一緒に発表会に出たり、市内外の福祉施設等で演奏したりするようになりました。公民館での活動だけでなく、外に出て交流する機会があるのも楽しいものです。



好きな楽器を演奏し、みんなでの曲を合奏するのはとても楽しいですよ。皆さんも眠っている手持ちの楽器を持って一緒にしませんか。
☆活動日時 毎週土曜日 午後1時～5時
☆会費 原則無料 イベント等の場合実費有
☆連絡先 吉田090-3230-3878

グループ活動講習会

公民館にいますか!!

最近「災害は忘れる前にやってくる」と言うそうです。避難経路はご存知ですか? AEDや消火器はどこにありますか?
公民館で活動中に大地震にあったら、どうしたらいいかを知っておくと、いざという時に役立ちます。基本をみんなで一緒に学びましょう。
上北台公民館で活動していないグループ、個人でもご参加いただけます。
日時 3/2(木) 午前10時～正午
場所 上北台公民館
講師 北多摩西部消防署員
持ち物 『東京防災』各戸に配られている黄色い表紙の本
定員 30人(申込順)
申込み 上北台公民館

次世代育成講座 アラ中読書会

この読書会は、前身「中学生の皆さん!本について語ってみようよ」の初回から数えて、20回目をむかえます。ずっと来ている人も、初めて参加の人も、みんなで本の話で盛り上がりましょう。本にもアニメにも、詳しい作家さんが司会です。課題図書を読んでいなくても参加できます。
日時 3/11(土) 午後3時～5時
場所 上北台公民館
講師 篠原まり氏(YA作家)
対象 12歳から18歳くらいまでの方
課題図書 『君の名は。』新海誠著
角川文庫または、角川つばさ文庫 KADOKAWA
持ち物 おすすめの本
定員 15人(申込順)
申込み 上北台公民館
☑電子メール申込可

第31回 子どもフェスティバル

日時 3/11(土) 午前10時～午後1時
場所 蔵敷公民館
内容 絵本の読み聞かせ、ゲームコーナー、あそびの広場in蔵敷、食べ物コーナー
※入場及び参加費は無料です。
対象 幼児親子、小・中学生
共催 青少年対策第七・九地区委員会、蔵敷えほんのへや
ボランティア協力 第五中学校
※車での来場はご遠慮ください。
問合せ 蔵敷公民館

市民企画高齢者講座 「未・楽・生倶楽部」企画運営委員募集

公民館で実施する講座を市民自ら企画・運営する委員を募集します。皆さんが持っているアイデアを出し合いながら楽しい講座を一緒に企画運営しましょう。
日にち 第1回目 4/6(木)
時間 午前10時～正午
場所 蔵敷公民館
募集人数 4人程度
※講座は、平成29年10月から11月に行う予定です。
申込み 3/1(水)～15(水) 蔵敷公民館

平成29年度 市民大学・東大和グリーンカレッジ(B)の企画運営委員募集

市民大学の企画運営委員を募集します。講座は、秋から冬にかけて行う予定です。今回のテーマは「健康」です。
〈第1回企画運営委員会〉
日時 4/8(土) 午前10時～正午
募集人数 5人程度
※初めての方を優先します。
場所 中央公民館
申込み 3/1(水)～15(水) 各公民館

「用紙援助」受付中です!

公民館を定期的に利用して学習している団体に対し、必要な用紙(再生紙)を援助します。
■援助対象となる団体
①市内の各公民館を定期的に利用し活動していること
②会員の半数以上が市内在住・在勤・在学者(高校生の部活は除く)で構成される5人以上の団体であること
③継続的な学習計画を持ち、活動していること
④政治・宗教・営利を目的としないこと
⑤市等の補助金を受けていないこと
■援助対象となる情報
①定期的に発行している機関誌、機関紙
②市民を対象に開催する公開学習会等の広報・資料
③市民を対象に無料で提供する学習や活動の記録
※会員募集のチラシ、グループ活動や総会で使う資料等は対象外です。
■申請に必要な書類
各公民館及び新堀地区会館に用意してあります。
申込み締切 3/11(土)
受付・問合せ 各公民館

会員募集

▼社交ダンス初心者入門(ちよこつと踊ろう会) 毎週第一・二・三火曜日 午前10時～正午/甲斐/月千円/新しく立ち上げる会です/岡高野内090-4752-5537
▼みんなでつくる男の料理(みんなの料理) 毎月第一土曜日 午後6時～9時30分/上北台/月千五百円/講師指導のもと作ります。気軽にご連絡下さい/岡吉成042-566-6269

◎ (☑電子メール申込可)の事業に電子メールで申込み場合は、市ホームページ内「施設案内」⇒「公民館」⇒該当する公民館のページの最後にある「このページに関するお問い合わせ先」のメールフォームで「回答を希望する」を選択し、件名に「『講座名』受講希望」と必要事項を入力し、送信してください。